

申立書類綴り

(任意後見監督人選任)

○申立書

- ①任意後見監督人選任申立書

○申立関係書類

- ②申立事情説明書（任意後見）
- ③親族関係図
- ④任意後見受任者事情説明書
- ⑤任意後見受任者事情説明書記載例
※④⑤は候補者に交付して記載してもらってください。
- ⑥財産目録
- ⑦相続財産目録
- ⑧収支予定表

○申立添付書類

- ⑨お願い（主治医の先生へ）
- ⑩診断書（成年後見制度用）
- ⑪診断書付票
- ⑫診断書記載ガイドライン
- ⑬診断書記載例
※⑨～⑬は医師に交付して記載してもらってください。
- ⑭お願い（福祉関係者の方へ）
- ⑮本人情報シート
- ⑯本人情報シート記載ガイドライン
- ⑰本人情報シート記載例
※⑭～⑰は福祉関係者の方に交付して記載してもらってください。

申立後は、家庭裁判所の許可を得なければ申立てを取り下げることができません。

※ 太わくの中だけ記載してください。

※ 該当する部分の□にレ点（チェック）を付してください。

受付印		任意後見監督人選任申立書		
		※ 収入印紙（申立費用）800円分をここに貼ってください。		
		【注意】 貼った収入印紙に押印・消印はしないでください。 収入印紙（登記費用）1,400円分はここに貼らないでください。		
収入印紙（申立費用）	円	準口頭	関連事件番号	
収入印紙（登記費用）	円			年（家）第
予納郵便切手	円			号
長野家庭裁判所 支部・出張所 御中		申立人又は同手続 代理人の記名押印	印	
令和	年	月	日	
申 立 人	住 所	〒 —		
	ふりがな	電話 ()	携帯電話 ()	
	氏 名	<input type="checkbox"/> 大正 <input type="checkbox"/> 昭和 年 月 日 生 <input type="checkbox"/> 平成 (歳)		
	本人との 関 係	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 四親等内の親族 () <input type="checkbox"/> 任意後見受任者 <input type="checkbox"/> その他 ()		
手 続 代 理 人	住 所 (事務所等)	〒 — ※法令により裁判上の行為をすることができる代理人又は弁護士を記載してください。		
	氏 名	電話 ()	ファクシミリ ()	
	本 籍 (国 籍)	都 道 府 県		
本 人	住民票上 の 住 所	<input type="checkbox"/> 申立人と同じ 〒 — 電話 ()		
	実 際 に 住 ン で い る 場 所	<input type="checkbox"/> 住民票上の住所と同じ 〒 — ※ 病院や施設の場合は、所在地、名称、連絡先を記載してください。		
	ふりがな	病院・施設名 ()	電話 ()	
	氏 名	<input type="checkbox"/> 大正 <input type="checkbox"/> 昭和 年 月 日 生 <input type="checkbox"/> 平成 (歳)		

申立ての趣旨

任意後見監督人の選任を求める。

申立ての理由

本人は、（※ ）により
判断能力が欠けているのが通常の状態又は判断能力が（著しく）不十分である。

※ 診断書に記載された診断名（本人の判断能力に影響を与えるもの）を記載してください。

申立ての動機

※ 該当する部分の□にレ点（チェック）を付してください。

本人は、

- 預貯金等の管理・解約 保険金受取 不動産の管理・処分 相続手続
 訴訟手続等 介護保険契約 身上保護（福祉施設入所契約等）
 その他（ ）

の必要がある。

※ 上記申立ての理由及び動機について具体的な事情を記載してください。書ききれない場合は別紙★に記載してください。★A4サイズの内紙をご自分で準備してください。

任意後見契約	公正証書を作成した公証人の所属	法務局	証書番号	<input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	年 第 号
	証書作成年月日	<input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	年 月 日	登記番号	第 ー 号

任意後見受任者	<input type="checkbox"/> 申立人と同じ ※ 以下色が付いている欄のみ記載してください。 <input type="checkbox"/> 申立人以外の〔 <input type="checkbox"/> 以下に記載の者 <input type="checkbox"/> 別紙★に記載の者 〕★A4サイズの内紙をご自分で準備してください。				
	住所	〒 ー			
	ふりがな	電話 ()	携帯電話 ()		
	氏名			<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	年 月 日 生 歳
	職業	勤務先	〒 ー	電話 ()	
本人との関係	<input type="checkbox"/> 親族： <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> 甥姪 <input type="checkbox"/> その他（関係： ） <input type="checkbox"/> 親族外：（関係： ）				

手続費用の上申

手続費用については、本人の負担とすることを希望する。

※ 申立手数料，送達・送付費用，後見登記手数料，鑑定費用の全部又は一部について，本人の負担とすることが認められる場合があります。

添付書類	<p>※ 同じ書類は本人1人につき1通で足りません。審理のために必要な場合は，追加書類の提出をお願いすることがあります。</p> <p>※ 個人番号（マイナンバー）が記載されている書類は提出しないようご注意ください。</p> <p><input type="checkbox"/> 申立人の戸籍謄本（全部事項証明書）</p> <p><input type="checkbox"/> 本人の戸籍謄本（全部事項証明書）</p> <p><input type="checkbox"/> 本人の住民票又は戸籍附票</p> <p><input type="checkbox"/> 任意後見受任者の住民票又は戸籍附票 （任意後見受任者が法人の場合には，当該法人の商業登記簿謄本（登記事項証明書））</p> <p><input type="checkbox"/> 本人の診断書</p> <p><input type="checkbox"/> 本人情報シート写し</p> <p><input type="checkbox"/> 本人の健康状態に関する資料</p> <p><input type="checkbox"/> 任意後見契約公正証書写し</p> <p><input type="checkbox"/> 本人の登記事項証明書（任意後見契約）</p> <p><input type="checkbox"/> 本人の成年被後見人等の登記がされていないことの証明書（証明事項が「成年被後見人，被保佐人，被補助人とする記録がない。」ことの証明書）</p> <p><input type="checkbox"/> 本人の財産に関する資料</p> <p><input type="checkbox"/> 本人が相続人となっている遺産分割未了の相続財産に関する資料</p> <p><input type="checkbox"/> 本人の収支に関する資料</p> <p><input type="checkbox"/> 任意後見受任者が本人との間で金銭の貸借等を行っている場合には，その関係書類（任意後見受任者事情説明書5項に関する資料）</p>
------	---

申立事情説明書 (任意後見)

- ※ 申立人が記載してください。申立人が記載できないときは、本人の事情をよく理解している方が記載してください。
- ※ 記入式の質問には、自由に記載してください。選択式の質問には、該当する部分の口にチェックを付してください。

令和 年 月 日

作成者の氏名 _____ 印 _____

(作成者が申立人以外の場合は、本人との関係： _____)

作成者（申立人を含む。）の住所

- 申立書の申立人欄記載のとおり
- 次のとおり

〒 _____ - _____

住所： _____

裁判所からの電話での連絡について

平日（午前9時～午後5時）の連絡先：電話 _____（ _____ ）

（携帯・自宅・勤務先）

- ・ 裁判所名で電話することに支障がありますか。 電話してもよい 支障がある
- ・ 裁判所から連絡するに当たり留意すべきこと（電話することに支障がある時間帯等）があれば記載してください。

【本人の状況について】

1 本人の生活場所について

(1) 現在の生活場所

- 自宅又は親族宅

同居者 → なし（1人暮らし）

- あり ※ 同居している方の氏名・本人との続柄を記載してください。

(氏名： _____ 本人との続柄： _____)

(氏名： _____ 本人との続柄： _____)

(氏名： _____ 本人との続柄： _____)

最寄りの公共交通機関（※ わかる範囲で記載してください。）

（電車）最寄りの駅： _____ 線 _____ 駅

（バス）最寄りのバス停： _____ バス（ _____ 行き） _____ 下車

- 病院又は施設（入院又は入所の日：昭和・平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日）

名 称： _____

所在地：〒 _____ - _____

担当職員：氏名： _____ 役職： _____

連絡先：電話 _____（ _____ ）

最寄りの公共交通機関（※ わかる範囲で記載してください。）

（電車）最寄りの駅：_____線_____駅

（バス）最寄りのバス停：_____バス（_____行き）_____下車

(2) 転居、施設への入所や転院などの予定について

※ 申立後に転居・入院・転院した場合には、速やかに家庭裁判所までお知らせください。

予定はない。

予定がある。（ 転居 施設への入所 転院）

時期：令和_____年_____月頃

施設・病院等の名称：_____

転居先、施設・病院等の所在地：〒_____ - _____

2 本人の略歴（家族関係（結婚、出産など）及び最終学歴・主な職歴）をわかる範囲で記載してください。

年 月	家族関係	年 月	最終学歴・主な職歴
・	出生	・	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

3 本人の病歴（病名、発症時期、通院歴、入院歴）をわかる範囲で記載してください。

病 名：_____

発症時期：_____年_____月頃

通院歴：_____年_____月頃 ～ _____年_____月頃

入院歴：_____年_____月頃 ～ _____年_____月頃

病 名：_____

発症時期：_____年_____月頃

通院歴：_____年_____月頃 ～ _____年_____月頃

入院歴：_____年_____月頃 ～ _____年_____月頃

4 福祉に関する認定の有無等について

※ 当てはまる数字を○で囲んでください。

介護認定（認定日：_____年_____月）

要支援（1・2） 要介護（1・2・3・4・5）

非該当 認定手続中

- 障害支援区分（認定日：_____年_____月）
 区分（1・2・3・4・5・6） 非該当 認定手続中
 療育手帳（愛の手帳など）（手帳の名称：_____）（判定：_____）
 精神障害者保健福祉手帳（1・2・3 級）
 身体障害者手帳（1・2・3・4・5・6 級）
 いずれもない。

5 金銭の管理について

※ 「金銭の管理」とは、所持金の支出入の把握、管理、計算等を指します。

- 本人が管理している。
（多額の財産や有価証券等についても、本人が全て管理している。）
 任意後見受任者、親族又は第三者の支援を受けて本人が管理している。
（通帳を預かってもらいながら、本人が自らの生活費等を管理している。）
→支援者（氏名：_____ 本人との関係：_____）
支援の内容（_____）
 任意後見受任者、親族又は第三者が管理している。
（本人の日々の生活費も含めて任意後見受任者等が支払等をして管理している。）
→管理者（氏名：_____ 本人との関係：_____）
管理の内容（_____）

【申立ての事情について】

1 本人について、これまで家庭裁判所の成年後見制度の手続を利用したことがありますか。

- なし
 あり → _____年_____月頃
利用した裁判所：_____家庭裁判所_____支部・出張所
事件番号：_____年（家）第_____号
 後見開始 保佐開始 補助開始 その他（_____）
申立人氏名：_____

2 任意後見契約の締結の経緯等

契約日：平成・令和 _____年 _____月 _____日
契約場所： 公証役場 自宅 病院・施設 その他（_____）
事情（どのような経緯で任意後見契約を締結するに至ったかなど）

3 本人は任意後見契約を締結したことを記憶していますか。

※ 本人が申立人の場合は記載不要です。

- 記憶している。
 記憶していない。

4 本人には、今回の手続をすることを知らせていますか。

※ 本人が申立人の場合は記載不要です。

- 申立てをすることを説明しており、知っている。
 ⇒ 申立てについての本人の意見 賛成 反対 不明
- 申立てをすることを説明したが、理解できていない。
- 申立てをすることを説明しておらず、知らない。
- その他 (_____)

5 本人の推定相続人について

(1) 本人の推定相続人について氏名、住所等をわかる範囲で記載してください。

※ 欄が不足する場合は、別紙★に記載してください。★A4サイズ用の紙をご自分で準備してください。

※ 推定相続人とは、仮に本人が亡くなられた場合に相続人となる方々です。

氏名	年齢	続柄	住所
			〒 <input type="checkbox"/> 本人と同じ

(2) (1)で挙げた方のうち、この申立てに反対の意向を示している方がいる場合には、その方の氏名及びその理由等を具体的に記載してください。

氏名	理由等

6 本人に関し何らかの相談をし又は何らかの援助を受けた福祉機関があれば、チェックを付して、その名称を記載してください。

- 地域包括支援センター（名称：_____）
- 権利擁護センター（名称：_____）
- 社会福祉協議会（名称：_____）
- その他（名称：_____）
- 相談をし又は援助を受けた福祉機関はない。

7 家庭裁判所まで本人が来ることは可能ですか。

- 可能である。
- 不可能又は困難である。

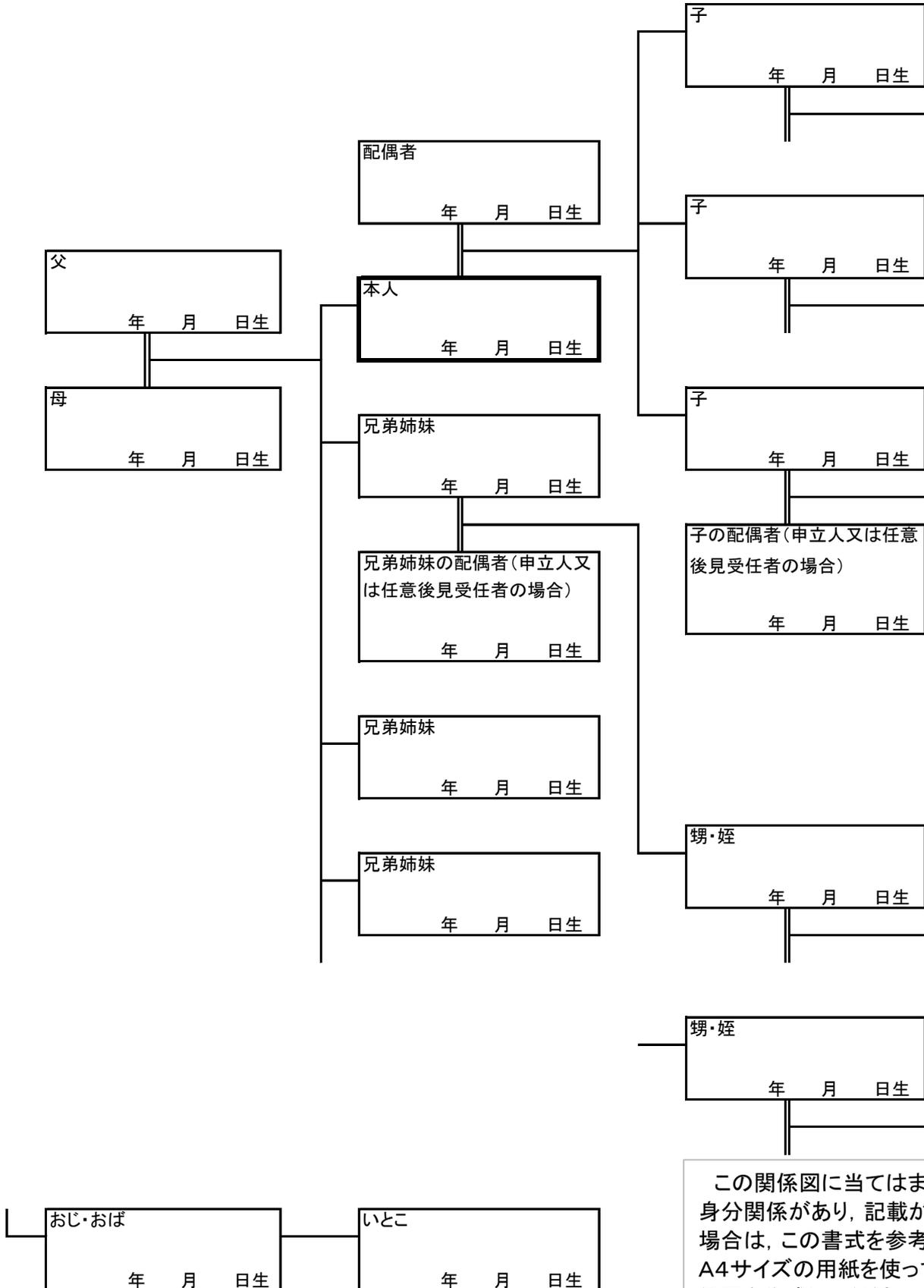
理由：_____

8 本人に申立ての事情等をお伺いする場合の留意点（本人の精神面に関し配慮すべき事項等）があれば記載してください。

親 族 関 係 図

※ 申立人や任意後見受任者が本人と親族関係にある場合には、申立人や任意後見受任者について必ず記載してください。

※ 本人の推定相続人その他の親族については、わかる範囲で記載してください。
 (推定相続人とは、仮に本人が亡くなられた場合に相続人となる方々です。)



この関係図に当てはまらない身分関係があり、記載が難しい場合は、この書式を参考にして、A4サイズの内紙を使って親族関係図を作成してください。

任意後見受任者事情説明書

- ※ 任意後見受任者の方が記載してください。
 ※ 記入式の質問には、自由に記入してください。選択式の質問には、該当する部分の□にチェックを付してください。

令和 年 月 日

任意後見受任者の氏名 _____ 印

任意後見受任者の住所

- 申立書の任意後見受任者欄記載のとおり
 次のとおり

〒 _____ - _____

住所： _____

裁判所からの電話での連絡について

平日（午前9時～午後5時）の連絡先：電話 _____（ _____ ）
 （ 携帯・ 自宅・ 勤務先）

- ・ 裁判所名で電話することに支障がありますか。 電話してもよい・ 支障がある
 - ・ 裁判所から連絡するに当たり留意すべきこと（電話することに支障がある時間帯等）があれば記載してください。
- _____

1 あなたの現在の生活状況、健康状態など（法人が受任者の場合には記載不要です。）

(1) 職業

（職種： _____ 勤務先名： _____）

(2) あなたと同居している方を記載してください。

- 同居者なし
 同居者あり ※ 同居している方の氏名・年齢・あなたとの続柄を記載してください。
 （氏名： _____ 年齢： _____ あなたとの続柄： _____）
 （氏名： _____ 年齢： _____ あなたとの続柄： _____）
 （氏名： _____ 年齢： _____ あなたとの続柄： _____）
 （氏名： _____ 年齢： _____ あなたとの続柄： _____）

(3) 収入等

収入（年収）（ _____ 円）

資産

- 不 動 産
 預 貯 金（ _____ 円）
 有 価 証 券
 そ の 他（内容： _____）

負債（借金）

- 住宅ローン（_____円）
 自動車ローン（_____円）
 消費者金融（_____円）
 その他（内容：_____）（金額：_____円）

(4) あなたとともに生計を立てている方がいる場合又はあなた以外の方の収入で生計を立てている場合には、その方の続柄と収入を記載してください。

あなたとの続柄（_____）・収入（年収）（_____円）

(5) あなたの現在の健康状態（差し支えない範囲で記載してください。）

- 健康体である。
 具合が悪い。（具体的な症状：_____）
 通院治療中である。
（傷病名：_____ 通院の頻度：___か月に___回程度）

2 あなたは、次のいずれかに該当しますか。

- 次の事項に該当する。
 未成年者である。
 家庭裁判所で成年後見人，保佐人，補助人等を解任されたことがある。
 破産手続開始決定を受けたが，免責許可決定を受けていないなどで復権していない。
 現在，本人との間で訴訟をしている又は過去に訴訟をした。
 あなたの〔 配偶者 親 子〕が，現在，本人との間で訴訟をしている又は過去に訴訟をした。
 いずれにも該当しない。

3 本人とあなたとの任意後見契約の効力が生ずることについて、どう思われますか。

- 必要 不要（不要と思われる理由について記載してください。）

4 あなたと本人との日常の交流状況（家計状況，面会頻度，介護，援助，事務等）

(1) 本人との関係 本人の親族（続柄：_____） その他（_____）

(2) 本人との同居の有無

現在，本人と 同居中である。（同居を開始した時期_____年___月～）

同居していない。

(3) 本人との家計の状況

現在，本人と 家計が同一である。 家計は別である。

(4) ※ 本人と同居していない方のみ回答してください。

本人との面会の状況 月に（_____）回程度 2～3か月に1回程度

半年に1回程度 年に1回程度

ほとんど会っていない その他（_____）

(5) あなたが本人のために介護や援助など行っていることがあれば記載してください。

5 あなたと本人との間で、金銭の貸借、担保提供、保証、立替えを行っている関係がありますか。

- ・ 金銭貸借 なし あり(具体的な金額, 内容: _____)
- ・ 担保提供 なし あり(具体的な金額, 内容: _____)
- ・ 保証 なし あり(具体的な金額, 内容: _____)
- ・ 立替払 なし あり(具体的な金額, 内容: _____)

※ あなたが立て替えた金銭が「あり」の場合、本人に返済を求める意思がありますか。

- 返済を求める意思はない。 返済を求める意思がある。

※ 「あり」に該当する項目がある場合は、関係書類（借用書、担保権設定契約書、保証に関する書類、領収書、立替払を示す領収書・出納帳等）のコピーを添付してください。

6 あなたが任意後見受任者となった経緯や事情を記載してください。また、任意後見契約のほかに、本人と締結している財産管理などに関する委任契約がある場合は、その内容を記載してください。

7 本人の財産管理と身上保護（療養看護）に関する今後の方針、計画

- 現状を維持する（本人の財産状況、身上保護状況が変化する見込みはない。）
- 以下のとおり、**財産状況**が変化する見込みである。
（大きな収支の変動、多額の入金の予定など、具体的な内容を記載してください。）

- 以下のとおり、**身上保護（療養看護）の状況**が変化する見込みである。
（必要となる医療や福祉サービス、身の回りの世話など、具体的な内容を記載してください。）

8 任意後見監督人選任の手続

誰を任意後見監督人に選任するかについての家庭裁判所の判断に対しては、不服の申立てができないことを理解していますか。

- 理解している。 理解していない。

9 任意後見人及び任意後見監督人の役割及び責任

家庭裁判所で配布しているパンフレットや裁判所ウェブサイトの後見ポータルサイト又はその他の説明資料をご覧になるなどして、任意後見人及び任意後見監督人の役割や責任を理解していますか。

- 理解している。
- 理解できないところがある。又は疑問点がある。
(理解できないところや疑問点について記載してください。)

-
- 理解できていない。
→ 家庭裁判所で配布しているパンフレットや裁判所ウェブサイトの後見ポータルサイト又はその他の説明資料などで、任意後見人及び任意後見監督人の役割や責任について説明していますので、そちらをご覧になってください。

任意後見受任者事情説明書

- ※ 任意後見受任者の方が記載してください。
 ※ 記入式の質問には、自由に記入してください。選択式の質問には、該当する部分の□にチェックを付してください。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

任意後見受任者の氏名 甲 野 夏 男 (印)

任意後見受任者の住所

- 申立書の任意後見受任者欄記載のとおり
 次のとおり

〒 _____ - _____

住所： _____

裁判所からの電話での連絡について

平日（午前9時～午後5時）の連絡先：電話 000 (0000) 0000
 (携帯・ 自宅・ 勤務先)

- ・ 裁判所名で電話することに支障がありますか。 電話してもよい 支障がある
- ・ 裁判所から連絡するに当たり留意すべきこと（電話することに支障がある時間帯等）があれば記載してください。

特になし

1 あなたの現在の生活状況、健康状態など（法人が受任者の場合には記載不要です。）

(1) 職業

(職種： 会社員 勤務先名： 〇〇株式会社)

(2) あなたと同居している方を記載してください。

同居者なし

同居者あり ※ 同居している方の氏名・年齢・あなたとの続柄を記載してください。

(氏名： 甲野 花子 年齢： 〇〇 あなたとの続柄： 母)

(氏名： 甲野 海子 年齢： 〇〇 あなたとの続柄： 妻)

(氏名： 甲野 海人 年齢： 〇〇 あなたとの続柄： 長男)

(氏名： _____ 年齢： _____ あなたとの続柄： _____)

(3) 収入等

収入（年収） (〇〇〇万 円)

資産

不 動 産

預 貯 金 (〇〇〇万 円)

有 価 証 券

そ の 他 (内容： _____)

負債（借金）

- 住宅ローン（_____円）
 自動車ローン（〇〇万円）
 消費者金融（_____円）
 その他（内容：_____）（金額：_____円）

(4) あなたとともに生計を立てている方がいる場合又はあなた以外の方の収入で生計を立てている場合には、その方の続柄と収入を記載してください。

あなたとの続柄（妻）・収入（年収）（〇〇〇万円）

(5) あなたの現在の健康状態（差し支えない範囲で記載してください。）

- 健康体である。
 具合が悪い。（具体的な症状：_____）
 通院治療中である。
（傷病名：_____ 通院の頻度：___か月に___回程度）

2 あなたは、次のいずれかに該当しますか。

- 次の事項に該当する。
 未成年者である。
 家庭裁判所で成年後見人、保佐人、補助人等を解任されたことがある。
 破産手続開始決定を受けたが、免責許可決定を受けていないなどで復権していない。
 現在、本人との間で訴訟をしている又は過去に訴訟をした。
 あなたの〔 配偶者 親 子〕が、現在、本人との間で訴訟をしている又は過去に訴訟をした。
 いずれにも該当しない。

3 本人とあなたとの任意後見契約の効力が生ずることについて、どう思われますか。

- 必要 不要（不要と思われる理由について記載してください。）

4 あなたと本人との日常の交流状況（家計状況、面会頻度、介護、援助、事務等）

- (1) 本人との関係 本人の親族（続柄：子） その他（_____）
- (2) 本人との同居の有無
 現在、本人と 同居中である。（同居を開始した時期_____年___月～）
 同居していない。
- (3) 本人との家計の状況
 現在、本人と 家計が同一である。 家計は別である。
- (4) ※ 本人と同居していない方のみ回答してください。
 本人との面会の状況 月に（4）回程度 2～3か月に1回程度
 半年に1回程度 年に1回程度
 ほとんど会っていない その他（_____）

(5) あなたが本人のために介護や援助など行っていることがあれば記載してください。

本人が入所してから、週1回、面会に行っており、その際に施設の方からも本人の様子を聞いている。

5 あなたと本人との間で、金銭の貸借、担保提供、保証、立替えを行っている関係がありますか。

- ・ 金銭貸借 なし あり(具体的な金額, 内容: _____)
- ・ 担保提供 なし あり(具体的な金額, 内容: _____)
- ・ 保証 なし あり(具体的な金額, 内容: _____)
- ・ 立替払 なし あり(具体的な金額, 内容: _____)

※ あなたが立て替えた金銭が「あり」の場合、本人に返済を求める意思がありますか。
 返済を求める意思はない。 返済を求める意思がある。

※ 「あり」に該当する項目がある場合は、関係書類（借用書、担保権設定契約書、保証に関する書類、領収書、立替払を示す領収書・出納帳等）のコピーを添付してください。

6 あなたが任意後見受任者となった経緯や事情を記載してください。また、任意後見契約のほかに、本人と締結している財産管理などに関する委任契約がある場合は、その内容を記載してください。

任意後見契約について家族で話し合った際、本人から、任意後見受任者になってもらいたいとの意向があったことから、本人の状況をよく把握している私が任意後見受任者となった。

7 本人の財産管理と身上保護（療養看護）に関する今後の方針、計画

現状を維持する（本人の財産状況、身上保護状況が変化する見込みはない。）。

以下のとおり、**財産状況**が変化する見込みである。

（大きな収支の変動、多額の入金の予定など、具体的な内容を記載してください。）

本人の弟である甲野次郎が令和〇年〇月に亡くなり、遺産分割手続きが行われる予定で、財産を取得する見込みである。

以下のとおり、**身上保護（療養看護）の状況**が変化する見込みである。

（必要となる医療や福祉サービス、身の回りの世話など、具体的な内容を記載してください。）

本人の希望により、他の施設への入所を検討している。

8 任意後見監督人選任の手続

誰を任意後見監督人に選任するかについての家庭裁判所の判断に対しては、不服の申立てができないことを理解していますか。

理解している。 理解していない。

9 任意後見人及び任意後見監督人の役割及び責任

家庭裁判所で配布しているパンフレットや裁判所ウェブサイトの後見ポータルサイト又はその他の説明資料をご覧になるなどして、任意後見人及び任意後見監督人の役割や責任を理解していますか。

- 理解している。
- 理解できないところがある。又は疑問点がある。
(理解できないところや疑問点について記載してください。)

-
- 理解できていない。
→ 家庭裁判所で配布しているパンフレットや裁判所ウェブサイトの後見ポータルサイト又はその他の説明資料などで、任意後見人及び任意後見監督人の役割や責任について説明していますので、そちらをご覧になってください。